

令和4年6月21日
教育部まなび支援センター
0438-22-4152

「木更津市におけるプログラミング学習に関する連携協定」締結式について

本市では、多様な主体との協働によるまちづくりを推進しています。

これまで本市は、県内の企業や教育機関と連携し、授業改善のための教職員研修や出前授業の実施、教育のための人材確保（交流）に取り組んできました。

今般、お互いが持つノウハウや最新の技術、サービスを有効に活用し、産・官・学が一体となってプログラミング学習の充実を図るため、連携協定を締結することとなりました。

今後はこの協定に基づき、プログラミング学習や情報教育の充実に寄与する取組を協働で展開していきます。

※締結式当日に、地元企業と連携して実施してきた、本市のプログラミング学習についての映像を流す予定です。

1 日時 令和4年7月5日（火） 14時から

2 場所 木更津市役所駅前庁舎8階 防災室・会議室

3 出席者（敬称略）

富士電機 IT ソリューション株式会社

Coderdojo 木更津

株式会社エスタシオンホールディングス

株式会社エクスパンド

千葉県立木更津高等学校

千葉県立木更津東高等学校

独立行政法人国立高等専門学校機構木更津工業高等専門学校

木更津市

市長 渡辺 芳邦

副市長 田中 幸子

教育長 廣部 昌弘

執行役員

井原 徹也

代表

仲村 茂毅

代表取締役社長

鈴木 喬裕

代表取締役CEO

濱田 基

校長

卯月 睦彦

校長

池谷 道雄

校長

山崎 誠

4 連携事項

(1) プログラミング学習の充実に関すること

(2) 教員の授業力、ICT活用指導力の向上に関すること

(3) その他、甲及び乙が協議し必要と認める事項に関すること

5 連携協定のイメージ



連携協定前

- 学校ごとに地元企業や教育機関に協力要請
- プログラミング学習を含む情報教育は学校ごとに指導計画を作成
- 教職員研修は校内研修、あるいは市教委や県教委主催の研修が中心
- 学校で取り組む内容が多く、教職員への負担が大きい



連携協定後

- 市教委で各学校からの要望を取りまとめ、学校のニーズにあった地元企業や教育機関に出前授業、指導者派遣等の協力を要請
- 教育機関の専門的知見や、企業のノウハウを活かして、小学校・中学校・高等学校の接続を見据えたプログラミング学習に関する指導計画を市で立案
- 地元企業や教育機関からのゲストティーチャー・講師による研修など、幅広い取り組みが可能に
- 連携協定により学校支援体制が強化され、教職員の負担軽減、力量向上に資する

